

## 基本目標

仕事づくり（人材の確保・育成、安定した雇用の創出）

## 数値目標

項目	目標値(現状値)
○新規高卒就職者の県内就職率	目標値：〇〇 現状値：81.8%(H27年3月卒)
○製造品出荷額等	目標値：〇〇 現状値：47,625億円(H25年)
○商業・サービス業の総生産額	目標値：〇〇 現状値：19,331億円(H25年度)
○農業産出額	目標値：〇〇 現状値：2,049億円(H25年)
○観光客入込数	目標値：〇〇 現状値：48,315千人(H25年)

## 施策の方向性

No.	現状・課題	施策の方向性
	<p><b>人材の確保・育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学や就職を理由とした首都圏への人口流出が進んでいる。</li> <li>・県内に就職した高卒者の離職率が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若年者のFターン、県内定着に向けた支援</li> <li>・本県出身大学生を中心としたFターン支援（県内企業の魅力情報発信、職場実習の実施）</li> <li>・県内学生への就職力向上セミナー開催</li> <li>・インターンシップや就職相談員の拡充 など</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産・育児等に伴う女性の離職者が多い。</li> <li>・未就職者全体に占めるシニア世代の割合が増えている。</li> <li>・ニート等の若者の職業的自立への支援が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な人材への就労支援、働きやすい環境づくり</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスの推進、女性就職コーディネーターによる再就職支援</li> <li>・在宅勤務など多様な働き方の仕組みづくり支援</li> <li>・高齢者に対する職業相談・紹介、就業先確保</li> <li>・就労体験、カウンセリングの実施 など</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内製造業の持続的発展を図るには、特に中小企業における企業力強化が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製造現場を統括する高度人材の育成</li> <li>・企業OBを活用した、工場長育成道場の実施 など</li> </ul>

## 施策の方向性

No.	現状・課題	施策の方向性
	<p><b>雇用の創出</b></p> <p>・震災等により、企業の県外移転や若年層を中心とする人口流出が進んでおり、県内での雇用の場の確保・創出が必要。</p>	<p>○企業誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業やICT企業を中心とした立地促進</li> <li>・首都圏等からの本社機能移転</li> <li>・海外企業の立地促進</li> </ul> <p>○将来を支える成長産業の育成・集積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・再生可能エネルギー関連産業の育成・集積</li> <li>・「ロボット産業革命の地ふくしま」の実現に向けた取組</li> </ul> <p>○新しい産業の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスケア産業の育成</li> </ul> <p>○創業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性・若者による起業への支援</li> <li>・社会的起業への支援</li> <li>・大学発ベンチャーへの支援 など</li> </ul>
2	<p>・農林水産業の就業者は、高齢化の進行により減少しており、産出額も減少傾向。</p> <p>・特に、震災以降は、営農休止・風評等により、その傾向が強まっており、雇用の創出、所得向上が図られる農業の実現が課題。</p>	<p>○農林水産業の再生・振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業の再生</li> <li>・安全・安心な農林水産物供給による風評払拭</li> <li>・農林水産業の成長産業化へ向けた取組</li> <li>・地域資源の活用、民間活力の導入による雇用創出 など</li> </ul>
	<p>・観光客入込数は、回復傾向にあるが、未だ震災前の水準には戻っていない。</p> <p>・震災等による風評などにより、本県のブランド力が大きく損なわれ、県産品のイメージ低下、販路縮小に繋がっている。</p>	<p>○誘客促進による観光業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光素材の発掘や磨き上げ、人材育成やおもてなし向上による何度でも訪れたい観光地づくり</li> <li>・正確な情報発信、魅力的なプログラムづくりによる教育旅行の再生</li> <li>・外国人旅行者誘致関連事業の推進</li> </ul> <p>○県産品の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知名度の高い展示会の県内開催、関係機関と連携した先駆的な仕組みづくりによる伝統工芸産業の魅力向上、販路拡大</li> <li>・風評払拭のための情報発信、官民一体となった県産品の付加価値向上による国内外の販路拡大 など</li> </ul>

基本目標

ふくしまのイメージを回復させ、ひとの流れをつくる

数値目標

項目	目標値(現状値)
県外からの転入者数	目標値:〇〇 (H26年転入者30,757人(1,803人の社会減))
県内高校卒業者、大学生等の県外転出者数	目標値:〇〇 (データなし)
観光客入込数	目標値:〇〇 (H25年に48,315千人)
新規就農者数	目標値:〇〇 (H26年度に166人)

施策の方向性

No.	現状・課題	施策の方向性
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校、大学等の卒業を機に県外へ転出する人が多く、一度県外に転出した若い世代が本県に戻らない傾向がますます顕著になっている。</li> <li>・農林水産業への就業者数は減少傾向にあるものの、若者を中心に農業への関心が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内への進学・就職の促進</li> <li>・地元大学等の魅力向上</li> <li>・ソフトコンテンツ関連産業をはじめとする一般企業等の誘致</li> <li>・新規就農者の育成、受入体制の整備</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客入込数が震災前まで回復していない。特に外国人宿泊者数が少ない。</li> <li>・本県の固有性、独自性を生かした観光資源が少ない。</li> <li>・過疎・中山間地域を中心に二次交通手段が不足している。</li> <li>・農村体験等のニーズは強いものの、受入体制が整っていない。</li> <li>・ボランティア活動など、新しい絆を活用した交流人口の拡大に対する期待が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流人口の拡大</li> <li>・正確な情報発信、教育旅行・外国人観光客誘致の強化</li> <li>・地域の魅力の再発見、新たな観光資源の発掘・活用</li> <li>・二次交通手段の充実</li> <li>・都市部の企業・大学生等と農村との交流促進</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県への移住者は、震災以前の半分程度までしか回復していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内への移住促進</li> <li>・本県の正確な情報・魅力の発信</li> <li>・受入体制の強化</li> </ul>



## 基本目標

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

## 数値目標

項目	目標値(現状値)
福島県で子育てを行いたいと回答した県民の割合	目標値:〇〇% (平成20年に48.3%)

## 施策の方向性

No.	現状・課題	施策の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭を築き、子どもを生き育てることの意義について、若い世代から教育・啓発する必要がある。</li> <li>・妊娠から子育て、教育に要する費用について、負担感が増大している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心して次世代を生き育てられる環境づくりに取り組む。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の安定的な就労に向けた取組</li> <li>・独身男女の出会いの増加</li> <li>・母子保健対策の推進 など</li> </ul> </li> <li>○子育ての支援を充実する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭の負担軽減と相談体制の整備</li> <li>・子ども・子育て支援新制度の推進 など</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来を担う子どもたち自身の意見を施策に反映させる必要がある。</li> <li>・共働き世帯の増加など社会環境の変化により、子どもの居場所について保護者のニーズが高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもにやさしい環境づくりを推進する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの参画の促進</li> <li>・遊び環境の充実</li> <li>・家庭や地域における教育の推進</li> <li>・教育の充実 など</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化の進行等により子育て世帯の孤立化が進んでいる。</li> <li>・共働き家庭が増加しているが、女性が仕事とともに家事や育児を担うなど負担が重いものになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育てを支える社会環境づくりを推進する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみでの子育て支援</li> <li>・ワーク・ライフバランスの推進 など</li> </ul> </li> </ul>



基本目標

人と地域が輝くまちをつくる

数値目標

項目	目標値(現状値)
地域づくり計画策定件数	目標値:〇〇 ((①土木部指標81件(H27.5.1) ②企画調整部指標(総計指標)75件(H27.3.31現在))
農業・農村の有する多面的機能の維持を図る共同活動を行う面積	目標値:〇〇 (46,479ha(H27.3.31))

施策の方向性

No.	現状・課題	施策の方向性
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちの顔」である商店街の活力低下が懸念されている。</li> <li>・地域医療や生活交通、商業施設など、暮らしに欠かせない基本的な生活基盤の維持・整備が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全・安心して暮らせるまちづくり</li> <li>・商店街の活性化</li> <li>・地域医療や生活交通の確保、福祉・教育環境の充実、道路や情報通信等の生活基盤の確保</li> <li>・コンパクトシティーや小さな拠点の導入支援</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎・中山間地域を取り巻く環境は、高齢化の進行等によりますます厳しくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○持続可能な地域づくり</li> <li>・地域力の育成、働く場と収入の確保、生活基盤づくり</li> <li>・農村の有する多面的機能の維持・発揮</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、市町村が協同で地域資源(宝)を発見し、磨き上げ、活用することが求められている。</li> <li>・未来のふくしまを担う子ども、若者を育成することが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○魅力あふれるまちづくり</li> <li>・地域資源(宝)や個性を生かした取組への支援</li> <li>・地域に愛着を持ち、本県の未来を担う人材の育成</li> </ul>